



四万十川に面した整備部分



ポット苗を植え込む子供たち



植栽にあたってはワラを利用



DATA・BOARD 32

- ① 高知県高岡郡窪川町一斗俵
- ② 延長：173m
- ③ JR土讃線窪川駅から車で約15分
- ④ 松葉川温泉、林間キャンプ場、さんせきキャンプ場、河畔キャンプ場、四万十緑林公園ほか



窪川町は四万十川の下流域にあり、深い緑に覆われた自然景観の美しい地域である。

「木の香る道づくり」は、四万十川流域で行われた道路整備事業に合わせて、近接する斜面の緑化を行い、緑に包まれた潤いのある道づくりをめざしたものである。

山を切り取った斜面には、地域に自生している樹種による自然林の形成を目的に、ポット苗の植え込みが行われた。土留めには間伐材を重ね、これを段々状にしてポット苗が根づくまでの地盤補強としており、間伐材が腐る頃には木々が生長し地盤を固めるとともに、腐った間伐材も肥料になるように考えられている。また、表面にはワラを敷き詰め、乾燥を防ぎながら、やがて肥料となるようなりサイクル的な利用が図られている。

ポット苗の植え込みの際には、地元の小学生による記念植樹も行われている。